

支援プログラム

事業所名：社会福祉法人 十日町福祉会 ケアホームげじょう

障害事業部理念	わたしたちは、一人ひとりが主体的な生活ができるよう支援します。
事業所重点目標	①利用者の意思を尊重した個別支援の実践を目指します
	②地域や家族、世代、分野を超えて地域共生社会の仕組み作りに取り組みます
	③事業継続計画（BCP）の検証と対策を行います
	④ 2期工事にあたって、利用者、従業員の安心安全を図ります
放課後等デイサービス 重点目標に 対する取り組み	①利用児の意見を汲み取った個別支援計画のもと、個々の状況に応じた発達支援を行い、生活能力の向上や社会交流の促進を目指します
	②家族及び地域との結びつきを重視し、関係機関との密接な連携に努め、途切れのないサポートを目指します
	③利用児の安心安全と健やかな成長に配慮し、利用児と家族のニーズに即した支援に努め、安定した環境を提供します
	④利用児の特性に考慮した感染症予防対策・災害対策に取り組みます 医療ケアが必要な児童の受入に努めます

支援内容

健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・来所時に検温を実施しその日の体調確認を行います。日頃からの観察を行い、体調不良時に素早く気づけるよう努めます。また、自分の体調に気づけたり、気を付けたりできるよう支援します。 ・食事や排せつ、衣類の着脱など生活面への基本的なスキルが高められよう支援します。また、生活リズムについては保護者や関係機関と連携し規則正しい生活が送れるよう支援します。
運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びを通して（ボール遊びや、追いかっこなど）体の動きの発達を支援します。 ・体操やダンスなどを取り入れ、音楽に合わせて身体を動かす機会を取り入れます。 ・感覚の過敏さや鈍感さに配慮した環境調整を行います。
認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚や聴覚、触覚などの感覚を活用して認知機能の発達を促すための活動（折り紙やブロック、課題）を取り入れ発達が促せるよう支援します。 ・スケジュール表などを活用して見通しを持って活動できる環境設定を行います。 ・認知の偏りや、コミュニケーションの困難さから生じる行動障害に対して支援の統一性や環境調整などを行い適切な行動を獲得できるよう支援します
言語・ コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの成長段階等に応じて具体的な物事や言葉をマッチングできるよう話掛けをすることで、言語や意味合いの習得に繋がられるよう支援します。 ・また、絵や写真カードなどのツールやサインやジェスチャーも活用しコミュニケーションがスムーズとれるよう配慮します。 ・自分の気持ちを言葉や、行動で表出できるようなコミュニケーション力を獲得できるよう支援します。
人間性・ 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・他者を意識し関りの中で信頼関係を築き、友だちや周囲の人と安定した関係を形成できるよう支援します。 ・日々の生活や遊びの中からルールや順番、教え合う、「かして」「いいよ」、「いれて」「いいよ」などを通じて社会性の発達を支援します。 ・集団行動の中で相手の気持ちへの理解や思いやり、自分の気持ちのコントロールに気づけるように支援します。 ・また、お当番や役割りを持たせることで自己有用感や自己肯定感が育まれるよう支援します。

<p>家族支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族が安心して利用できる環境作りに努めます。 ・また、日頃から良好な関係性作りに努め依頼事や相談をしやすい環境を作ります。 ・送迎や連絡帳などを活用し相談し合える環境、関係性作りに努めます。
<p>移行支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージの移行期には引継ぎを大切にし、スムーズな移行に努めます。 ・併設する児童クラブとの交流の中で情報交換しながら移行をイメージし支援します。 ・就労に向けての情報提供や支援を行います。
<p>地域支援・</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアホームげじょうは共生型施設です。お年寄りから小学生までの利用があり、挨拶など基本的なコミュニケーションからお互いの存在を認め合い、自然な受け入れ関係性作りに努めます。 ・また、地域のお祭りや商業施設などへ積極的に出かける機会を設けていきます。
<p>職員の質の向上への取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・内部研修への積極的な参加（虐待防止・身体拘束、感染症、リスクマネジメント、障害特性など） ・強度行動障害支援者養成研修への参加
<p>主な取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・季節ごとの行事 ・調理実習 ・納涼会 ・児童クラブや、デイサービスなどとの交流